



保育内容「表現」



おもちゃで遊ぼう(はっぴい)

分散登校の
授業等



施設実習授業(卒業生講演)



第2回基礎力リサーチ(アセスメントテスト)

2020年度 聖句

「見よ、新しいことをわたしは行う。
今や、それは芽生えている」
(イザヤ書43章19節)



CONTENTS

学校法人和泉短期大学2021年度事業計画	2
祈りを共にして	3
TOPICS(クリスマスイベント 他)	4
入学前教育 他	5

学校法人和泉短期大学2021年度事業計画

理事長 伊藤 忠彦



いた入学式を行い、6月8日から1年生、2年生とともに分散登校を開始しました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新学期の4月7日に最初の「緊急事態宣言」の発令があり、本学はこれに先立ち、

4月1日～5月31日まで臨時休講にしましたので、入学式を行うことができませんでした。全学生にはオリエンテーションを動画で配信、前期の教科書はすべて無償で提供、配布いたしました。6月からは、オンライン授業を開始、延期されて

さて、2021年度本

法人は、建学の精神に「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」、スクー

ルモットーに「愛と奉仕」を掲げ、乳幼児から高齢者にいたる、私たちの生涯に必要な、保育・

福祉の担い手であり質の高い保育者であるエッセンシャルワーカーの養成・教育の事業にあたり

ます。2021年度は新チャプレンを迎え、前理事長の重点構想にありました、建学の精神を事業の柱に努めて参ります。

新型コロナウイルスの収束の見込みがない中でも教職員は一体となり、学校法人和泉短期大学寄附行為第2章、「福音主

義基督教の信仰に基き、

教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行うことを目的とする」を本法人の目的・事業の務めとして果たして参ります。

コロナ禍の終焉が予測できない今日、地域密着型の短期大学として現場との関係を大切にしながら協働・連携を強化することが大切であると痛感しています。今まで以上に大学と地域の保育園、幼稚園、認定こども園、社会福祉施設等との連携を強化して、2021年度も前年度の経験を活か

し、状況に応じて、改良、改変しつつ、学生本位の教育事業を進めていきた

いと願っております。

私立学校法の改正により、2020年度制定の第2次中期計画15のビジョンでガバナンスとコンプライアンスの確立を掲げています。新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない中で、ニューノーマル時代を切り拓くために理事長、学長、事務局長のリーダーシップの下に教育、研究、地域貢献の和泉短期大学の基本的使命を着実に果たして参ります。



祈りを共にして

チャプレン(教授) 西田恵一郎



還暦の年に赴任して5年。「あっとい間だろう」と予想してはいたものの、確かに

「あっとい間」の5年間で仕事を終えるに当たって、心にある思いをそのまま紹介したいと思います。ひとつ目、最もてこずったのは論文でした。大学―短大も含めて―は教育と研究の機関ですから、わたしも研究をする立場に置かれた訳です。しかし、論理的思考で物事を捉えるタイプではなく、感情主導の人間にとって論文が求める「論理的に理路整然と」文章を書くことは至難の業でした。「なぜ、こんなにもったいぶった言い方をするのか：」、「もっと分かり易い表現があるだろうに：」という内なる声(拒

否反応)と戦いながら、1年に1本か2本の論文を仕上げることが出来ました。論文から解放されると思うとホッとしますが、論文が強いられただからこそ、学びを続けた、そして学びを深めたとも言えます。ですから、この5年間の「研究」の時に感謝しなければなりません。

次に、最も印象深く、そのため鮮明に記憶に残っているエピソードをふたつ紹介しましょう。和泉での1年目、校内の売店でのことでした。わたしが担当した「キリスト教概論」の授業では毎回短く祈りの時をもちます。欠席者を覚え、また学生から挙げられた「祈りの課題」を祈ります。売店で会った学生は前週の授業を欠席していました。友人たちが発熱のためと教えてくれたので、元気になるように祈ったのです。その学生は、友人たちから「キリスト教概論」で祈ったと聞いてたのでしよう。親指を立てて「熱、下がったよ、チャプレン!アーメン」と言ったの

です。和泉に入学してくる1年生の約73%が宗教に対して否定的な思いを持ってきます―『キリスト教教育論集 第27号』2019年3月号に実践報告として掲載―。「キリスト教概論」で学ぶ内容、特に聖書の物語は非現実的で、何だか雲を掴むようなものかもしれませんが。しかし、その授業から、またチャペルアワーから感じる独特の雰囲気は和泉にはあるのです。その雰囲気を感ずる感性において和泉の学生たちは、とても優れていると思います。その雰囲気を作っているのは何でしょう?ひとつは教職員が学生のために祈っている、学生たちは祈られていて、この事実から、その雰囲気は生まれているのではないかと思うのです。保育を学べる学校は数多くあります。しかし、学ぶ者が祈ってもらえる学校はそう多くはないのです。

もうひとつのエピソード。それは、実習巡回で訪れたある幼稚園のことでした。訪問での第一段階は名刺を渡し

ながらの自己紹介です。特に「チャプレン」とは何か、また何をする人かを知ってもらいます。これは、自分は保育の専門職ではないことを宣言する自己防衛でもあります。「チャプレンとは、学校付牧師で：」と始めるのです。その日、わたしが訪問した幼稚園でもひと通りの挨拶を終えると、すぐに園長先生が園内を案内してくださり、その後、園長室に通してくださいました。その幼稚園には二人の学生が配属されていました。しばらくすると席を外していた園長先生と一緒に二人の実習生が園長室に入ってきました。ソファに座るなり、

一人の学生が「こちらがチャプレンの西田先生です。聖書を教える人で、お祈りをする人です」と園長先生に紹介し始めました。どうやら、巡回に来る教師は保育の先生ではなく、「チャプレン」であり、「チャプレン」とは聖書を教える人で祈る人であると事前に園長先生に伝えていたようでした。二人の実習生からひ

と通り話を聞き終え、暇を告げようとした時、一人が「チャプレン、祈って」と言うのです。するともう一人も「そうしてください」と同調したかと思うと、園長先生まで「わたしも一緒に祈ってよろしいですか?」とおっしゃるではありませんか。そこで、4人が心を合わせて、学生が充実した実習ができるよう、また幼稚園に祝福があるようにと祈りました。「アーメン」と祈りを閉じた後、園長先生がひと言「心が洗われたようです。こういう学校で学べて幸せですね」とおっしゃってくださいました。

チャプレンは祈る人です。教職員はチャプレンに祈りを合わせる人たちです。そして、キリスト教学校は「祈る学校」です。「祈る学校」とは「礼拝する学校」とも言えるでしょう。和泉が学生たちのために、また学生たちと共に祈る―礼拝する―学校であり続けますように。主の祝福を!

TOPICS

クリスマスイベント

●クリスマスツリー奉献式

2020年3月に第54回卒業生ならびに第10回専攻科修了生から高さ3メートルのクリスマスツリーが寄贈されました。

3号館和泉クラーク・ホールの壇上に設置し、2020年11月16日(月)に「奉献式」を行いました。

土橋正文事務局長の司会、西田恵一郎チャプレンの司式により、石井三枝子オルガニストによる讃美歌演奏、聖書朗読、祈禱が行われ、佐藤守男学長から「今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、卒業式が挙行出来ませんでした。卒業生の皆さんに感謝し、このツリーは大切に使用させていただきます。」との言葉がありました。



●2020年度クリスマスツリー点火祭・アドベント礼拝

救い主イエス・キリストのご降誕を祝うクリスマス待つ4週間が今年は2020年11月29日(日)から始まりました。

今年度は、分散登校のため、2020年11月30日(月)・12月7日(月)の2週にわたり、クリスマスツリー点火祭・アドベント礼拝が行われました。

和泉クラーク・ホールで学生と教職員とが一堂に集まり、厳かな雰囲気の中、聖書朗読、学生聖歌隊の讃美がホールに響きました。西田恵一郎チャプレンの「『なぜ?』に対する答え」と題しての説教、祈りの後に、第54回卒業生ならびに第10回専攻科修了生から今年3月に寄贈された3mのクリスマスツリーに灯りがともされ、その瞬間、クリスマス(キリスト+ミサ)ーキリストの誕生を祝い、礼拝する一の感動を皆で共有しました。礼拝後には、参加した1年生に、同窓会からのプレゼントが一つずつ渡されました。



●「クリスマスフェア」開催

2020年12月7日(月)、9日(水)に、「クリスマスフェア」を開催しました。

通常、年4回実施しているフェアですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止への配慮から、本年度は初めての開催となりました(通算24回目)。

また、分散登校を実施中の為、多くの学生に参加して頂けるよう、2日間開催しました。



イベント内容

- ・100円ランチ…「クリスマスオムライス弁当」「カレーライス弁当」
- ・飲料販売…ペットボトル飲料を半額(50円)で販売
- ・キャンパスコンビニ 商品20% OFF
- ・お楽しみくじ

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、現在、学生食堂は営業を休止しており、クリスマス特別メニューの「お弁当」の提供をしました。また、ペットボトル飲料も、キャンパスコンビニ内ではなく、より広いスペースを確保できる学生ホールで販売しました。

今後も、安心安全を第一に、イベントを実施して参ります。

●2020年度クリスマス礼拝

和泉クラーク・ホールにおいて、2020年12月14日(月)・12月21日(月)の2週にわたり、本学学生および教職員とともに、救い主イエス・キリストのご降誕を祝うクリスマス礼拝が行われました。

東京神学大学教授・日本基督教団成瀬が丘教会牧師 小泉健先生をお招きして「神に栄光、人に平和」と題して説教をしていただきました。また、ハンドベルクワイアにより賛美が献げられました。お一人おひとりの心に、神様による平和と希望の光がともされますようにお祈りいたします。



新年礼拝

2021年1月6日(水)和泉クラーク・ホールにおいて「教職員 新年礼拝」を行いました。伊藤理事長から「練達を目指して」と題して、苦難と忍耐の中で希望を持って生きることが大切との新年の説教がありました。



2020年度 専攻科介護福祉専攻事例発表会

2021年2月12日(金)和泉短期大学会議室にて2020年度専攻科介護福祉専攻学生の事例発表会を行いました。

例年この発表会では施設関係者の方や青葉自治会の方をご招待しての開催でしたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により、教職員と専攻科生のみでの開催となりました。1年間の学びの集大成として一人ひとり実習で学んだ介護・福祉課程の発表を行っています。さらにロールプレイでの発表もありました。

この1年間一生懸命学んできたことを振り返り、実習中の学びや苦労、様々なことを乗り越えて得た経験を余すことなく発表する学生の姿は、とても遅く見えました。また今までの努力や頑張ってきた想いが込み上げて、涙する学生の姿もありました。



2021年度 入学前教育

小暮 奈緒さん (神奈川県立上溝南高等学校)



入学前教育を受講して、不安より楽しみが大きくなりました。

今回の入学前教育は新型コロナウイルスの影響で、プログラムにあったグループワークができなかったことで同級生と話すことができなかつた事がとても残念でしたが、大学入学後にたくさんの人とコミュニケーションを取っていきなと強く思いました。

先生方がとても丁寧に説明してくれたことで入学後の不安が軽減されました。和泉は雰囲気がとてもあたたかく、質問がしやすい環境だと感じました。授業でわからないことがあった時にすぐに先生に聞ける環境、そして先輩方との距離が近く、授業のことももちろん、実習のことなどを質問できるといふ点がとても心強いなと思えました。

和泉での2年間をより良いものにするために、何事も一生懸命取り組んでいきたいです。

針生 萌花さん (日本航空高等学校(山梨県))



現在コロナウイルス感染拡大の中で、入学前教育を実施していただき、とても感謝しています。

入学前教育を受講して、私は不安がありません。入学前教育を受講して、私は不安がありません。入学前教育を受講して、私は不安がありません。入学前教育を受講して、私は不安がありません。

入学してからは、新しいことに挑戦する気持ちをもって取り組みたいと思います。また、バスケットボール部副キャプテンとして全国大会に出場した経験と高校生活で培ってきた礼儀や周りに対しての気遣いなどを心がけて和泉での学生生活を送りたいです。

私は、和泉短期大学での2年間を、たくさんの方の仲間と協力しながら、充実した日々を送ってきたいと思います。

和泉短期大学 ティーチング・スタジオ開所式を行いました

2021年2月3日(水)

和泉短期大学 1号館2階に遠隔授業に対応したティーチング・スタジオが完成し、開所式を行いました。

コロナ禍の中で多くの大学等がリモート授業中心で、一度も大学構内に入ることすら許されない状況の中、和泉短期大学では、分散授業として対面授業、ビデオ配信型授業やGoogle Classroomを使った課題配信型授業に加え、Zoomを使用したハイブリッド(双方向授業)型授業を行って参りました。

本学ではコロナ禍の中で一層の教育活動ICT化を図るために、文部科学省「私立学校情報機器整備費(遠隔授業活用推進事業)」にティーチング・スタジオを申請し採択されたものです。

ティーチング・スタジオの紹介
録画用 4Kビデオカメラによる鮮明画像の配信が可能
スタジオ用教室の改修(防音用カーテン、吸音材等設置)
三脚、マイク、ライト、プロンプター等の設置
動画編集用PCおよびソフトウェアの設置



学修奨励奨学金、保育士修学資金、介護福祉士修学資金

2020年度前期 学修奨励奨学金奨学生

江藤 友奈 / 尾崎 彩果 / 角井 風香
北原 梨彩 / 木村 麗 / 崎原 美桜
畑中 皐来 / 吉田 千桜

2020年度 保育士修学資金(決定者)

神奈川県 岡本 怜奈 / 小林 美晴
横浜市 中丸 咲彩

川崎市

逢坂 理基 / 杉本 真衣

東京都

石井 愛海 / 入山 遥香 / 島 遥菜
島崎 真緒 / 梶 梨乃 / 宮田 菜央

2020年度 介護福祉士修学資金(決定者)

神奈川県 徳田 菜苗 / 中本 梨奈 / 藤原 由衣

人事

■退職(2020年12月5日付・育児休業)
前島 麻衣 助手

2020年12月5日から2021年9月13日まで

■退職(2020年12月18日付・任期満了)
沖 安子 学生支援ユニット(非常勤職員)

表彰

■全国保育士養成協議会 令和2年度永年勤続表彰
今泉 治子 庶務ユニット(庶務担当)主任

■キリスト教教育連盟 神奈川部会事務局 永年勤続表彰
佐久間志保子 特任教授

佐藤 美紀 准教授 専攻科介護福祉専攻主任

田中 孝一 学生支援ユニットサブリーダー
栗林 直樹 庶務ユニット(施設担当)

■お慶び(誕生)

前島 麻衣 助手 長女 実果(みか)さん 2020年10月9日生

■お慶び(結婚)

十時 愛美 教育・学習支援ユニット(実習担当)2021年2月18日

■訃報

故 櫻井 兵四郎 氏 教育・学習支援ユニットサブリーダー 金成泰宏 御祖父

(2021年1月21日)
主による平安をお祈りいたします。

2020年度 和泉短期大学「愛のいずみ基金奨学金」(給付型奨学金)のお願い

学校法人和泉短期大学の原点であるララ物資の精神を引き継ぐために本学教職員・法人関係者の方々からの寄付を中心とした本学独自の給付型奨学金基金を2018年度より設立しました。

現在の社会・経済環境が甚だ厳しい状況にあります。本学独自の愛のいずみ奨学金基金の趣旨をご理解のうえ、和泉短期大学の学生の支援充実のため、一人でも多くの方々のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

募金目標金額 3,000,000円
募金募集期間 2020年6月～2021年3月(第3期)
募金金額 1□5,000円
払込方法 郵便振替口座
 口座番号 00280-6-105705
 口座名 学校法人 和泉短期大学
 愛のいずみ基金奨学金

寄付者一覧(敬称略) <2020年12月1日～2021年2月15日>

金成 泰宏/雑賀えり子/新田 恭平/沼田 正/深町 正信/横川 剛毅/同窓会いずみ 以上7件 220,000円

所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。

詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人 和泉短期大学 庶務ユニット(経理担当)
042-754-1133

2020年度「教育環境充実資金募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年4月東京都世田谷区中町に「バット博士記念養成所」を開設し、同年5月「現任訓練講習会」を開催したことに始まります。1960年、その現任訓練機関が「玉川保育専門学院」となり、1965年に「和泉短期大学」が設立され、2020年5月に学校法人和泉短期大学は創立64年を迎えました。

学校法人和泉短期大学を卒業された卒業生は19,415名の方々の働きや努力と活躍により発展成長したものと深く感謝申し上げます。

和泉短期大学は、教育の充実を図り、学修環境整備、施設設備の維持整備を目的に2020年度も「教育環境充実資金募金」を行うことになりました。

みなさまには出費多難な折とは存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金対象事業 1. 3号館空調設備チラー(2台)交換工事
 2. 3号館和泉クラーク・ホール外壁等防水工事
 3. その他教育環境改善費他

寄付者一覧(敬称略) <2020年12月1日～2021年2月15日>

大谷 孝次/金成 泰宏/深町 和哉/深町 正信/松山由佳子/横川 剛毅 以上6件 130,000円

募金目標金額 10,000,000円
募金募集期間 2020年6月1日～2021年3月31日
募金金額 1 個人 1□ 5,000円
 2 法人 1□ 10,000円

所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。

詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人 和泉短期大学 庶務ユニット(経理担当)
042-754-1133

公共職業訓練 神奈川県委託訓練「専門人材育成コース」(保育士)

神奈川県委託訓練を修了して(第1期生)

委託訓練生

授業や課題、そして家事、育児をしながら過ごしたこの2年間は、私にとって、決して楽なことではありませんでした。しかし、ここで学んだことは、間違いなく私を大きく成長させてくれたと感じています。この2年間で学んだことを、これからの自分の人生に活かしていけるように、これからも頑張っていきたいと思っております。このような学びの機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。

委託訓練生

訓練生は単位を落とすことが許されないため、無事に修了することができ一安心しています。しかし、ここまでこれたのは1人では到底無理だったと思います。支え合える仲間や、家族のように接していただいた先生のおかげで、辛いことや実習を乗り越えることができました。和泉での多くの人たちとの出会いは、私にとって何事にも代え難い財産です。



和泉短期大学では2019年度から神奈川県公共職業訓練神奈川県委託訓練校に選定され、2021年3月に5名が訓練を修了し保育者として本学を巣立っていきました。